



教材・支援機器活用実践事例【ICT】

主体的な操作活動を保障するための ICT 活用 「スイッチ教材の使用」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	肢体不自由・知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間や家庭で、タブレット端末を使って手紙を書く生徒、好きな動画を検索する生徒など、活用している生徒が多い。 ・タブレット端末の操作について、タッチ速度が速くなり反応しない場合がある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	(教科学習等の様々な機会)
	単元(題材)名	
	単元(題材)の概要	(ICT を活用する場面で)
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	タブレット端末、i+pad タッチャー、スイッチ教材  
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○スイッチ教材を利用することで、タブレット端末へのタッチを確実にできるようにする。 〈工夫点〉 <ul style="list-style-type: none"> ・本人が操作しやすいスイッチを使用した。 ・スライド変更などの操作場면을役割として設定し、主体的に利用できるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、i+pad タッチャー、アプリ (Keynote)
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・i+pad タッチャーとスイッチ教材の使用により、確実に選択できたり、国語科ではクイズ大会の出題者として、場面に応じてスライドを変えたりすることができるようになった。